

富山中部高校 SSH 通信

第11号 平成29年6月 発行

○ 第2回 SSH オーストラリア海外研修

平成29年3月4日(土)から12日(日)にかけてオーストラリア海外研修が行われました。クィーンズランド州クリーブランドの州立クリーブランド地区高校への訪問をはじめ、様々なプログラムの中で国際性を高め、実践的な英語を身につけるべく、研修に取り組んできたとのことでした。



ホストファミリーとの対面！笑顔で迎えてくれて少し安心！



研究発表では興味津々に聞いてくれて、嬉しかったです！



大学でオーストラリアの生物についてレクチャーを受けた。様々な生き物に対する質問を考えよう！



磯での生態調査！！どのような生き物が暮らしているの？



南半球で、WAVE STYLE!



モーニングティータイムでのスコーン作り！生地からこねて作ったため、とてもおいしかったです！



自信を持って1週間の体験を発表することができました！

☆ 参加生徒の声

僕は、オーストラリア研修に英語を話すことに対しての積極性と関心を持ちたいという理由で参加しました。この目標はもちろん達成できました。皆あたたかく、綺麗な顔立ちで、楽しく、ご飯も美味しく、自然もCGのように美しい、とにもかくにもとてもいい国で英語を学べたことを誇りに思います。
(吉村 瑛治)

密度が濃く充実した研修だった。英語での会話は想像以上に難しかったが、国境や言語を越えた温かい交流を体験できた。自分の視野、価値観の乏しさを痛感しつつも、自然や文化に直接触れ、幾回りも成長できたと思う。
(福元 果歩)

現地の高校や野外調査の中で、慣れない環境でも果敢に挑戦するメンバーの姿が多く見られました。ホームステイでは、別れの際に涙を流すほど、充実した9日間であったことを実感しました。人生で1番貴重な経験でした。
(安藤 茉佑子)

次回のオーストラリア海外研修は平成30年3月3日(土)~11日(日)実施予定になっています！
どんどん積極的に応募して下さい！

○ イングリッシュサイエンスキャンプ

平成29年3月11日(土)から12日(日)にかけて、本校と五感リゾート牛岳「ささみね」を会場として、1学年を対象としたイングリッシュサイエンスキャンプが行われました。

富山大学の外国人研究員や大学院生の方を講師に招き、指導を受けながら各実験室で物理、化学、生物の実験にチャレンジしました。実験の説明や、解説、質疑応答などはすべて英語で行われ、英語での会話力が鍛えられました。



←まずは立命館大学の梶本哲也先生による講演会から。当然、all English！！

→物理の実験では、実験結果について英語で発表をする時間がありました。



←実験についてレクチャーを受ける。専門用語を英語に訳するのは難しい！(化学)

→実験器具の説明もすべて英語！日常会話では使わないような単語がどんどん出てくる。(生物)



夕方には「ささみね」に会場を移し、交流会や翌日の実験実習発表会にむけてのポスター作成に取り組みました。



↑→シャーロット先生による交流会。班に分かれてのクイズ大会で盛り上がりました。



←翌日の発表に向けてポスターと発表原稿作り。適格にまとめることが求められる！

→発表会の様子。質疑応答も英語で。正確に簡潔に伝えることの難しさを学びました。



日本語を使わない、英語漬けの2日間を参加者たちは楽しんでいるようでした。科学的用語を用いて英語で会話することは難しく、戸惑うところもありましたが、大学での研究活動に生きる体験でもあったように思います。

編集：河上ひかる 永野翔真(37H)